

## 町民の意識

## (1) 町民アンケートから

総合振興計画策定のためには、住民の意識・意向を的確に把握し、計画内容に反映させる必要があります。

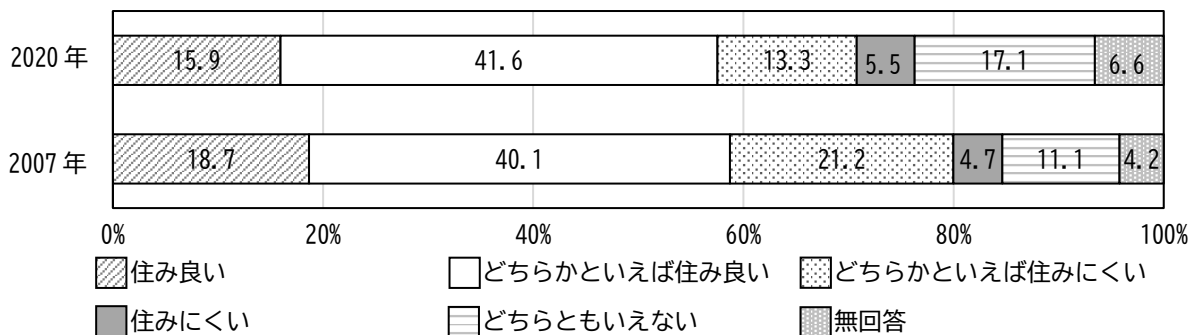
そのため、令和2年8月から10月にかけて、住民1,500名を対象に「岩内町総合振興計画に関する町民アンケート」を行い、以下の結果を得ることができました。

## ① 岩内町の住み良さ

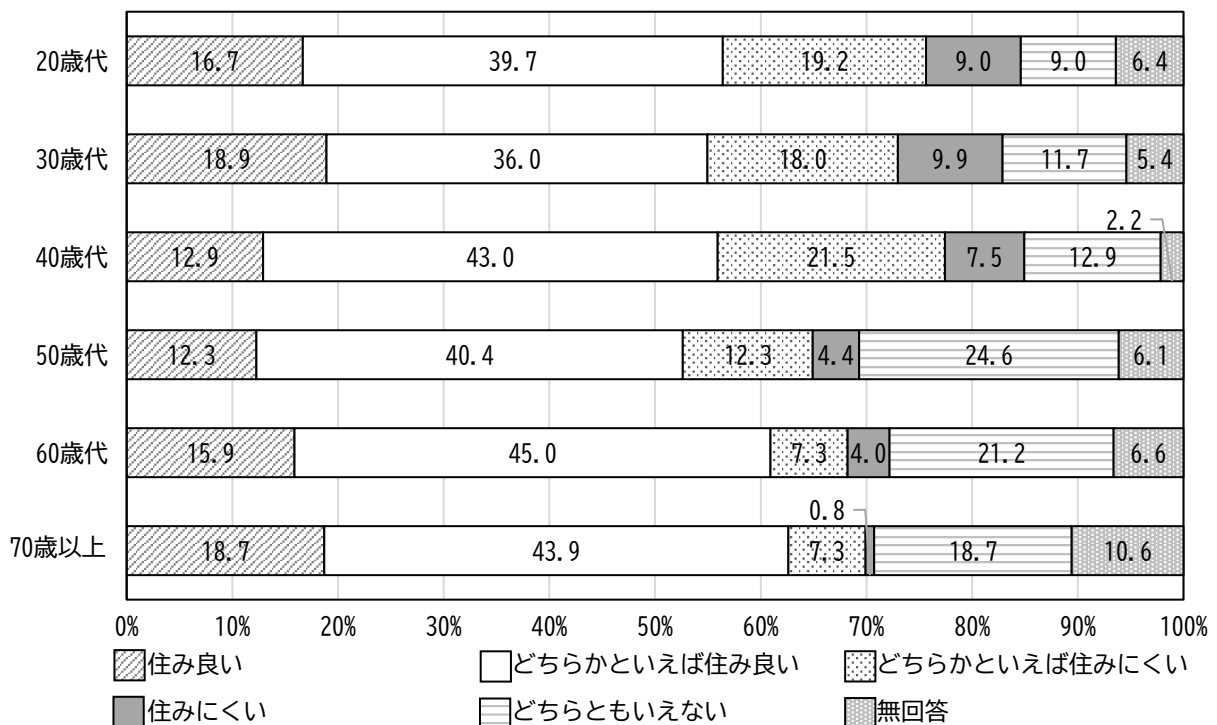
前回調査と比較すると、住み良い寄りの回答が1.1%減少しています。しかし、住みにくい寄りの回答も7.1%減少しており、「どちらともいえない」と回答する層が増加しています。

年代別では、住み良い寄りの回答が70歳以上で計62.6%と最も高い割合になりました。反対に住みにくい寄りの回答は40歳代で計29.0%と最大になりました。

## 岩内町の住み良さ



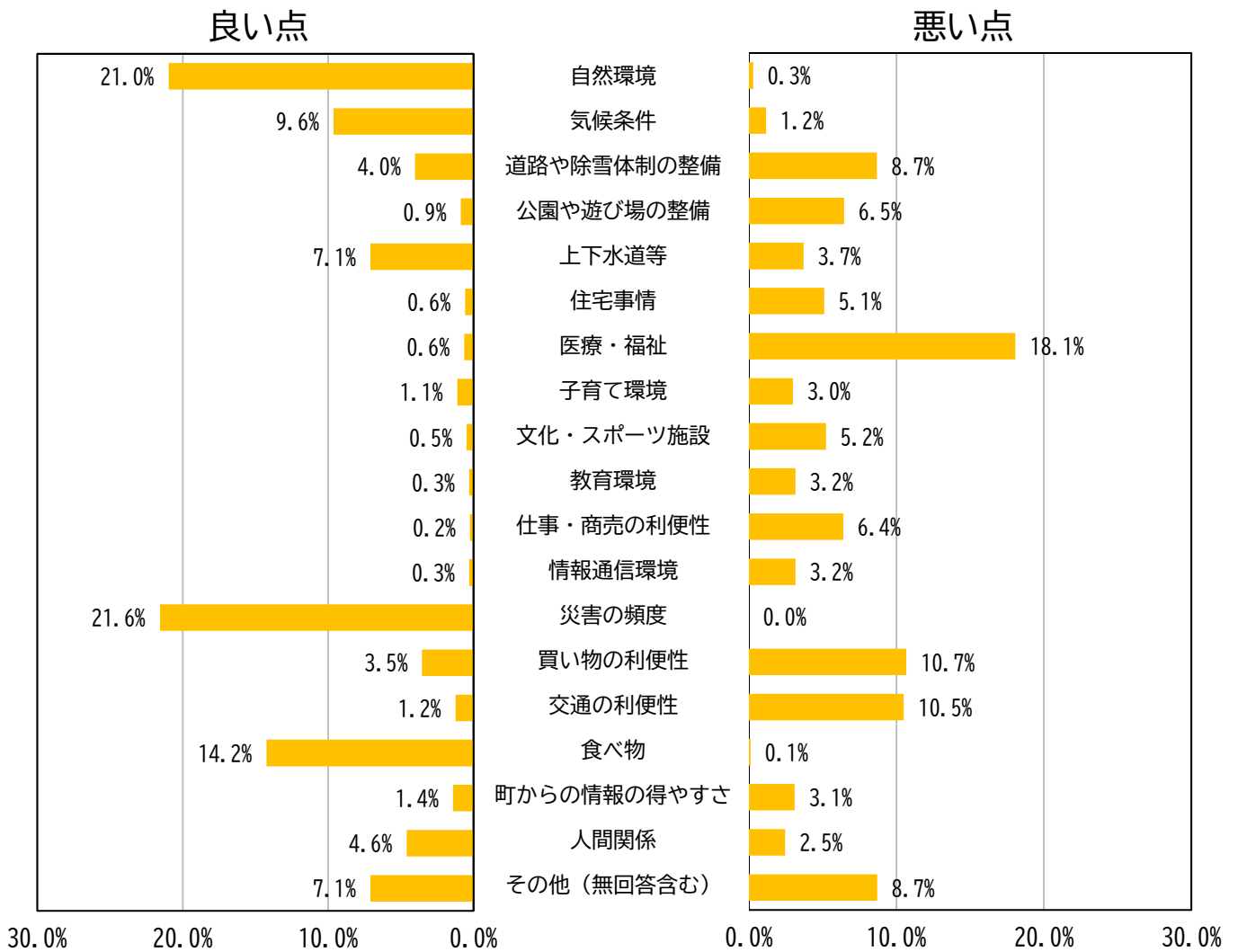
## 年代別の岩内町の住み良さ



## ② 住環境の良い点・悪い点

住環境で良いと思われる点では「災害の頻度」が少ない側に 21.6%、悪いと思われる点では「医療・福祉」が充実していない側に 18.1%で最多となりました。

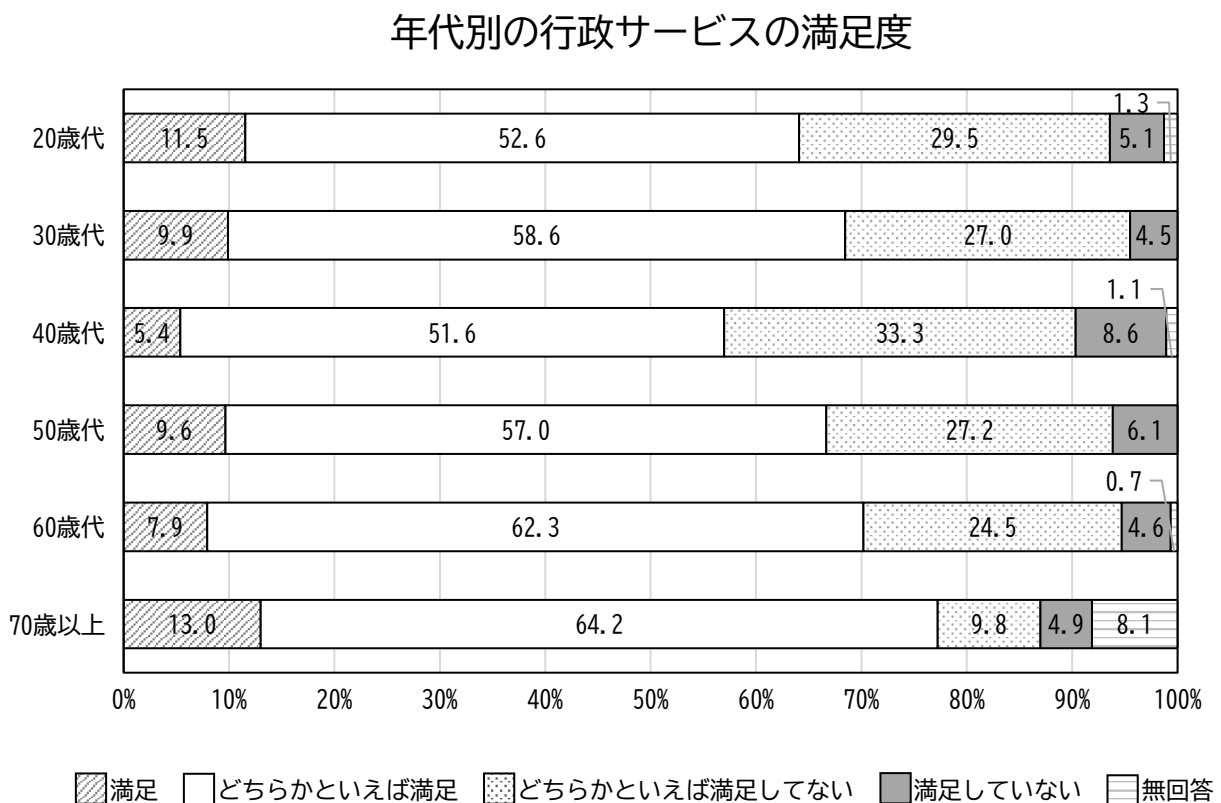
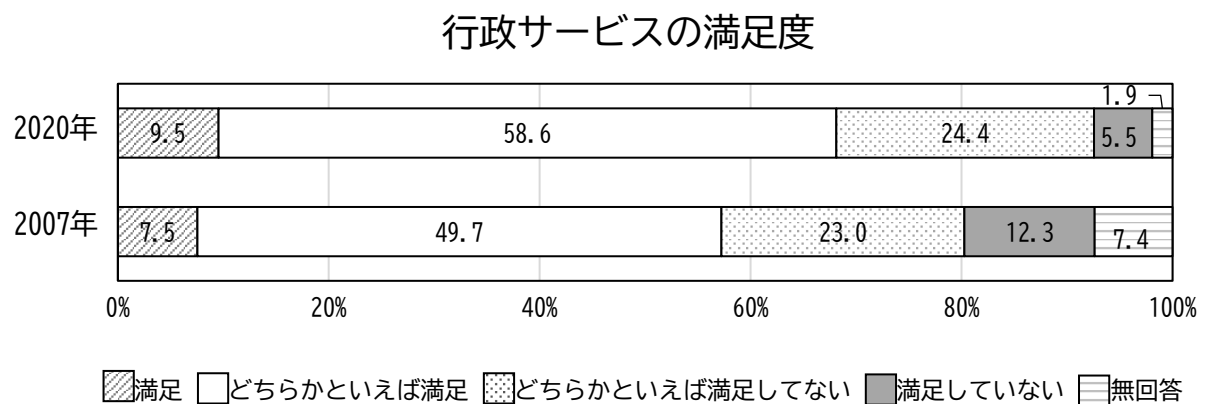
### 住環境の良い点・悪い点



### ③ 行政サービスの満足度

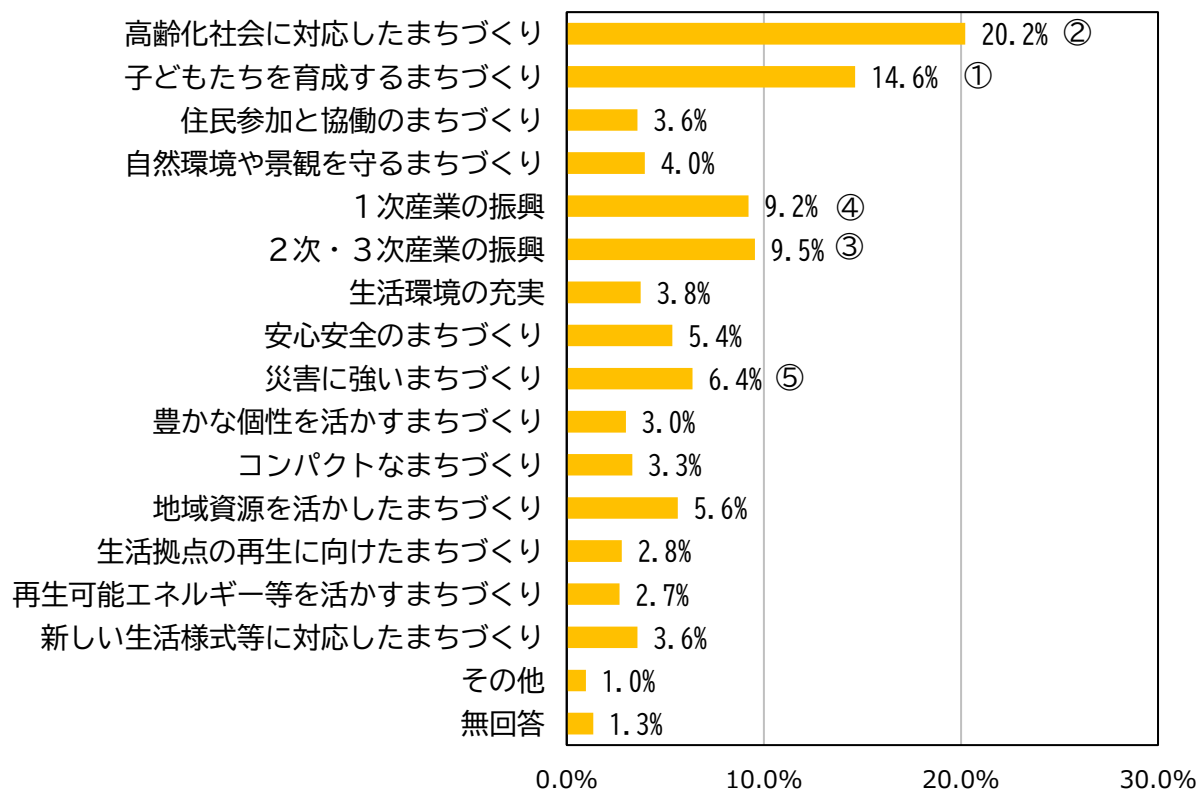
行政サービスの満足度では、満足している寄りの回答が計 68.1%、満足していない寄りの回答が 29.9%と、前回の結果より満足している寄りの回答が増加する結果となりました。引き続きより一層の行政サービスの向上が求められていると考えられます。

年代別では、満足している寄りの回答が 70 歳以上で計 77.2%と最も高い割合になり、満足していない寄りの回答は 40 歳代で計 41.9%と最大になりました。



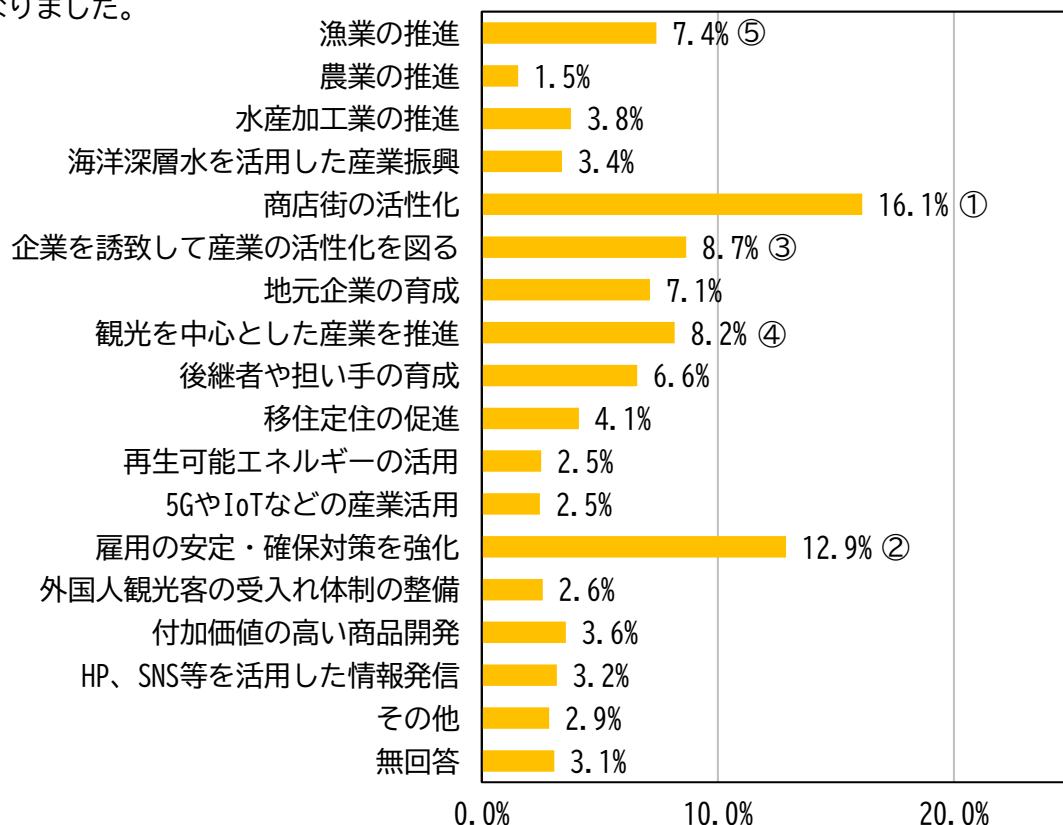
#### ④ 町が今後力を注いでいくべき分野

高齢化社会への対応、子どもたちの育成についての項目など、医療・福祉・教育に関する分野の回答率が高い結果となりました。



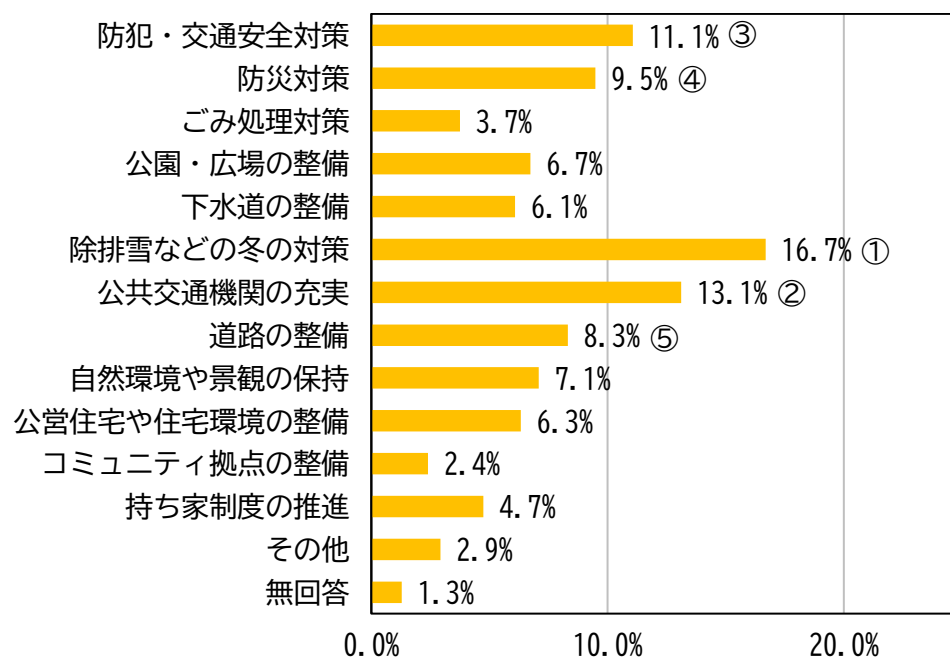
#### ⑤ 産業を活性化するために重要なこと

商店街の活性化と雇用の安定・確保対策など、多くの人にとって身近で具体的な項目の回答率が高い結果となりました。



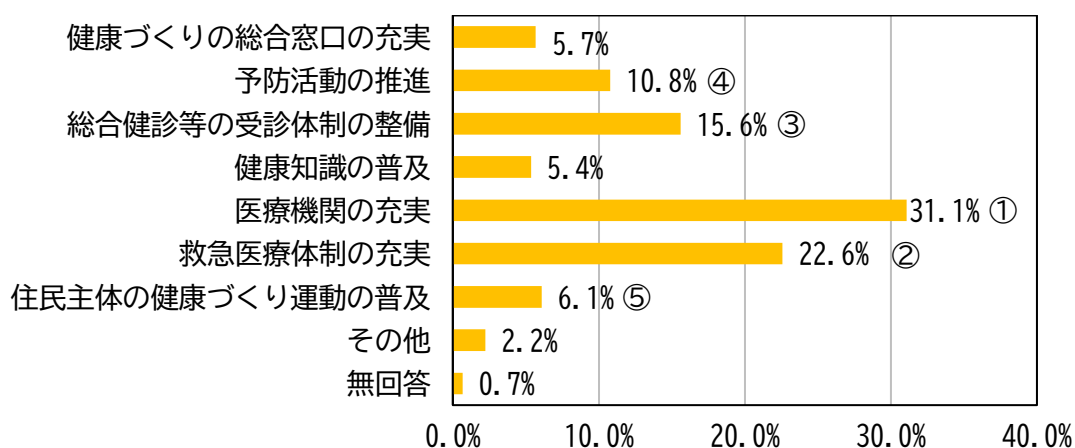
## ⑥ 生活環境を快適なものにするために重要なこと

除排雪に対する関心の高さの他、公共交通機関へのニーズを読み取ることができます。



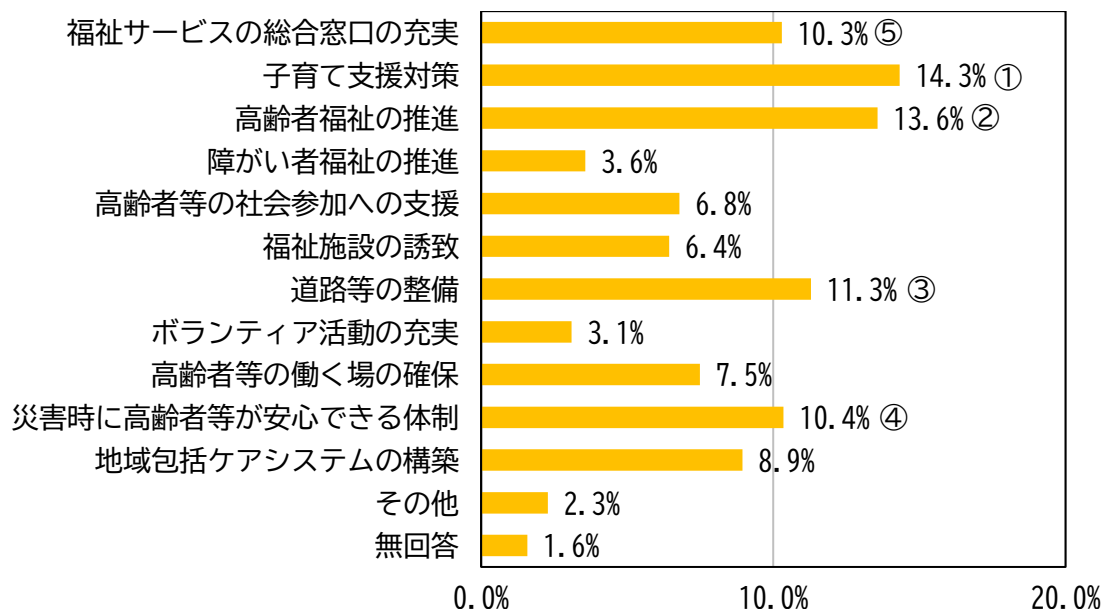
## ⑦ 健康に暮らせるまちにするために重要なこと

医療機関の充実、救急医療体制の充実など、医療に対する要望が過半数を占めました。



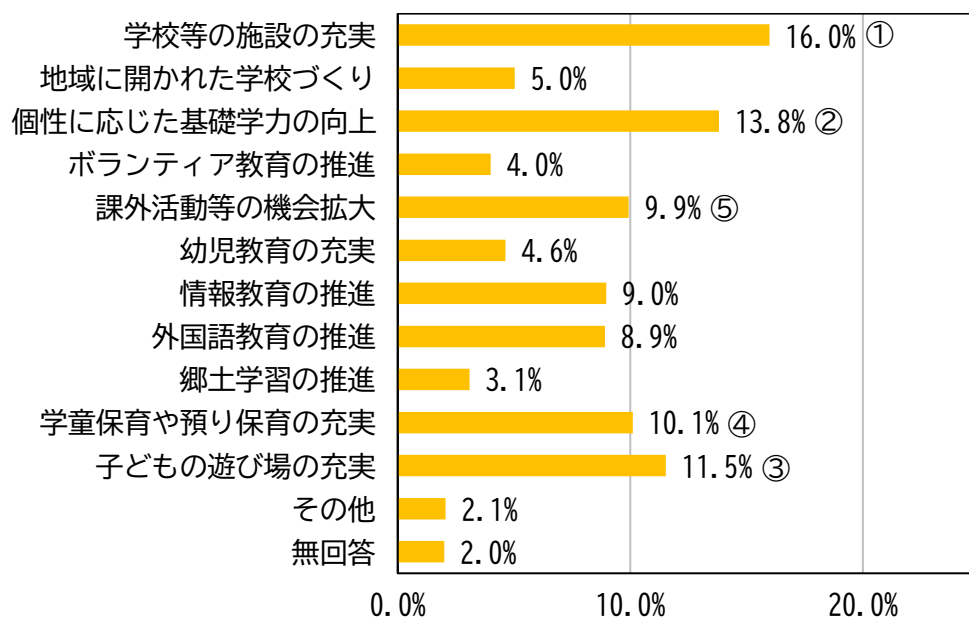
## ⑧ 福祉の行き届いたまちにするために重要なこと

子育て支援対策、高齢者福祉の推進など、具体的な施策ではなく特定の年代や層に向けた全般的な施策が支持される結果となりました。



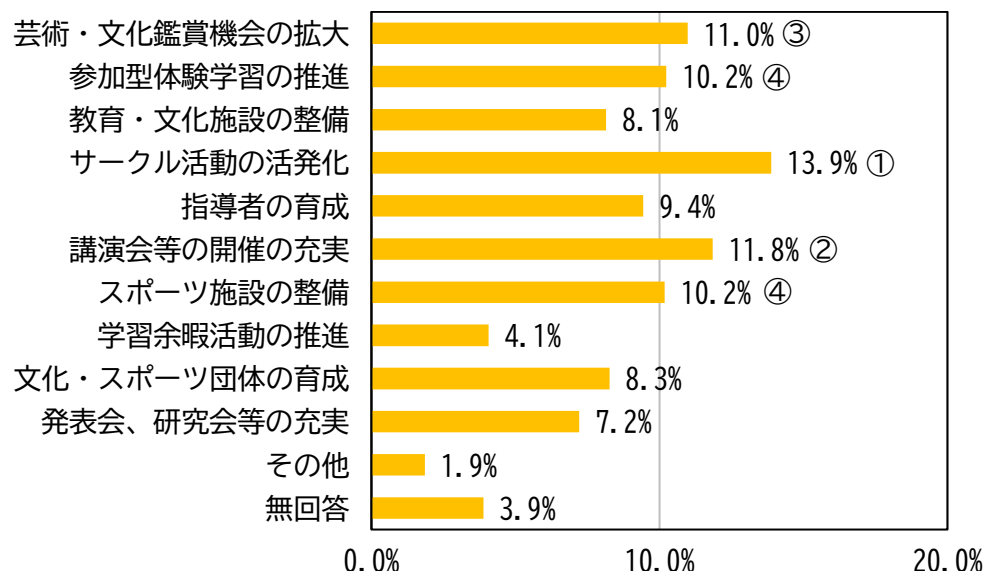
## ⑨ 子どもを健やかに育むために重要なこと

学校等の施設の充実への回答率の高さは、義務教育学校の導入についての議論により、町民の意識が高まっていると推察されます。また、基礎学力の向上が重要視されています。



# ⑩ 生涯学習を推進するために重要なこと

芸術・文化・スポーツ等いずれも同程度回答が集まり、生涯学習に対する町民の関心の広さを読み取ることができます。その中でサークル活動の更なる活発化に回答が最も多く集まりました。



# ⑪ 自由記述について

調査の中で、各設問に「その他」として、また「あなたが普段からまちづくりに関して感じていること、思っていること、実現したいことはありますか？」という設問において、自由記載欄を設けています。記述のあった件数、内容の分野は以下の通りです。

|                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| ○自由記述のあった件数      | 825 件                    |
| ○自由記述欄に記入をした人数   | 286 人                    |
| ○自由記述欄に記入をした人の割合 | 42.6% (全アンケート回答者数 671 人) |

|           |       |         |
|-----------|-------|---------|
| ・立地・地勢    | 3 件   | ( 0.3%) |
| ・生活環境     | 227 件 | (27.5%) |
| ・経済・産業    | 203 件 | (24.6%) |
| ・健康・福祉    | 78 件  | ( 9.5%) |
| ・子育て・教育   | 100 件 | (12.1%) |
| ・歴史・文化    | 1 件   | ( 0.1%) |
| ・地域コミュニティ | 20 件  | ( 2.4%) |
| ・その他      | 193 件 | (23.4%) |

## (2) 町民ワークショップから

### ① 目的・対象

計画の策定にあたり、計画への反映に向けた町民の意見の収集や、意見交換を行うために、行政と町民の対話として、まちづくりと関連の深い町内の団体を対象とし、全16回のワークショップを開催しました。

| 開催日               | 対 象             | 人 数 | 開催日       | 対 象         | 人 数  |
|-------------------|-----------------|-----|-----------|-------------|------|
| R2. 8.12<br>～8.28 | 岩内町役場職員         | 21名 | R2. 10. 2 | テラカフェ       | 6名   |
| R2. 9. 3          | 青年会議所 (JC)      | 5名  | R2. 10.15 | 子育て世代       | 5名   |
| R2. 9.17          | ブックスタートをサポートする会 | 4名  | R2. 10.20 | 老人クラブ       | 8名   |
| R2. 9.23          | 広域観光            | 5名  | R2. 11.11 | 岩内ロータリークラブ  | 9名   |
| R2. 9.24          | 岩内高校 2年 普通科     | 25名 | R3. 1.18  | 岩内高校 3年 普通科 | 24名  |
| R2. 9.26          | 岩内高校 1～3年 事務情報科 | 22名 | R3. 1.19  | 岩内高校 3年 普通科 | 28名  |
| R2.10. 1          | ポップ食堂           | 5名  |           | 合 計         | 167名 |

### ② 実施方法

ワークショップのツールとして、「Local Dialog」を使用しました。

まちの状態を5つのカテゴリーに分類し、69項目の対話カードを用いながら、町の姿を見える化していく中で、ワークショップ参加者が自分たちの地域にあったテーマ（課題）を見つけ、地域づくり戦略を導きだしました。

Local Dialog Map

① まちと住民のwell-being

② 行政と住民の協働のしやすさ

③ 人と地域のつながりやすさ

④ 地域資源の豊かさ

⑤ 暮らしやすさ



## ①生活環境に対する意見

### 〈良いところ〉

- 自然が豊か。海もあって、山もあって良い環境だと思う。
- 公園、運動公園があり、元気に遊んでいる雰囲気がある。
- ノッタラインには助かっている。乗客も多い。
- 重大事件を聞かないので生活環境はよい。

### 〈改善が必要なところ〉

- ▲商業施設の少なさや医療体制に不安を感じる。
- ▲公共交通機関はもっと向上してほしいと思う。
- ▲運動公園は遊べる年齢層に限りがあり、兄弟で行くと遊べない子が出てきて不便。
- ▲自然環境は良いものの、町並みを見ると商店街はシャッター街で本当に残念。

## ②経済・産業に対する意見

### 〈良いところ〉

- 業種毎の各組合や協会がしっかりしているため、連携が出来ているのではないかな。
- 個人事業者が多いイメージがあり、個人で頑張る意識を感じる。
- 岩内で仕事がないという話は個人的にあまり聞かない。特に女性がよく働いている地域だと思う。
- 海洋深層水、パークゴルフ場がある。

### 〈改善が必要なところ〉

- ▲目当ての観光スポットがない。目玉となる産業がない。
- ▲観光客を無理矢理連れてきているのが現状。ただ、資源は揃っている。生かす施設がない。
- ▲一次産業が盛り上がっていない。安全な食生活を考えたとき、もう少し一次産業を頑張る必要がある。
- ▲岩内町では働く場所が限られている。田舎はどこも同じ状況ではないかな。

## ③健康・福祉に対する意見

### 〈良いところ〉

- 母親が民生委員をしているが、事細かに地域の実態を把握している。
- 学校開放があり、運動をしている人も多い。
- 健康テーマのサークル活動をやっていたり、ラジオ体操も長年続いている。
- ウォーキングクラブ等の活動が多い。

### 〈改善が必要なところ〉

- ▲サポートが必要な人（高齢者単身世帯、老老世帯、障がい者など、）への体制は充実しているが、把握しているかは別。
- ▲医療施設の事を考えると、年をとったときに岩内に住み続けることはできない。
- ▲産婦人科がないのは致命的。
- ▲岩内に来たとき、医療と教育には困る町だという印象を受けた。

#### ④子育て・教育に対する意見

##### 〈良いところ〉

- どの地域に行っても、最低限のレベルが備わっている。ベースはあるので、本人が参加するかどうか。
- 海や山もあって環境が良いという移住者もいるので、環境は整っている。
- 子育てサークルなどがなければ、地域の人と関わる機会がなかった。

##### 〈改善が必要なところ〉

- ▲学校の選択肢がゼロ。英会話教室もないし地域格差は広がる。医療制度もだが、環境を与えられない。
- ▲何かを学べる場がないから知識や技術を持つことができない。農業を学びたくても学べる場がない。
- ▲有料でいいので、子どもを1時間でも預かってくれる場所がほしい。
- ▲岩内が嫌いというわけではなく子どもには色々な経験をしてほしい。

#### ⑤歴史・文化に対する意見

##### 〈良いところ〉

- 文化芸術団体が秋口になると活動が活発になる。
- 複数の画家の美術館はあるが、木田金次郎1人で成立している美術館は少ないのすごいと感じる。
- 劇団活動が出来ているのはすごいと思う。
- 書道、合唱、絵画、日本舞踊、フラダンス等たくさんのサークルがある。

##### 〈改善が必要なところ〉

- ▲アスパラも知らないし、ホップも知らない、食べさせたりビールを飲ませたりすることもない。魚も食べられないし、資源を生かし切れていない。
- ▲そもそも地域の文化などを知らない人多すぎる。
- ▲歴史や文化について、難しいことがわからない。小学校の頃だけでなく、ある程度の年代になってから、もう一度学ぶ機会がほしい。
- ▲小樽運河のように「岩内はこういう町」というストーリーがあれば、人は来ると思う。

#### ⑥地域コミュニティに対する意見

##### 〈良いところ〉

- 自分の地域をなんとかしたいと思っている人は多いと思う。
- 町内会で普段から連絡体制がとれている。
- 町内会で月1回ランダムでグループを組んで、お茶会のような催しを行っている。
- 地元でみんないろんなことで助けてくれる。田舎の強みだと思う。

##### 〈改善が必要なところ〉

- ▲他の地域にいた時は、みんなが参加できるようなイベントがもっとたくさんあった。
- ▲町内会活動では若い人・後継者がいない。若手が反応するような仕組み作りが重要。
- ▲団結している組合や団体のあるところにはとても入っていけない。団体のつながりが強いのは長所でもあると思うので、橋渡しの存在がいてほしい。

## ⑦その他

### ●定住意向

#### 〈良いところ〉

- 岩内に戻ってきたくないという人はいない。だから、愛着、誇りはあるのではないか。
- 町の中にいる人は満足している。満足していなければ出て行くはず。
- 高齢の親を子どもが都会へ引き取るケースがあるが、多くの場合岩内に残りたいがる。
- 一度町を出てからもう一度戻ってきたい。

#### 〈改善が必要なところ〉

- ▲町を離れる人が多い。仕事がない、やりたい仕事がない。高校を出た後、就職先が地域にない。
- ▲住みやすいが、最後まで住み続けるかという点で違う。
- ▲自然も豊かで岩内は好きだが、就職面を考えるとこれからも長く住みたいとは言いがたい。

### ●行政

#### 〈良いところ〉

- 札幌に比べると個人の顔がわかる時点で近い。
- 親身になってくれる人はいる。
- 関わらない人も多いけど、それぞれの分野にエキスパートはいると思う。
- 広報はみんな見ている。うまく活用してほしい。

#### 〈改善が必要なところ〉

- ▲特定の人がやっているからやらざるを得ない。巻き込むより巻き込まれている感。
- ▲役場の人が地域をどうしようと思っているか、地域について考えている人が何人いるかが大事だと思う。
- ▲組織単位になるとレスポンスが悪くなる。
- ▲最近の役場はクレームを恐れ何もしない風潮がある。愛着を育てるためにももう少し何かすべきでは。

### ●その他

#### 〈良いところ〉

- 「岩内なんか」という人に限って岩内を批判すると怒る。愛着、誇りがある人は多いと思う。
- いいことも悪いことも気になる。昔から住んでいることでの愛着。
- 岩内のことをけなされると嫌な気持ちになったことがあった。札幌では感じなかった。
- 自分が結婚して子どもを生んだ町だから、この子の出身地はここになるから愛着も湧く。

#### 〈改善が必要なところ〉

- ▲ビジョンを持って仕事をしている人が少ない。起業家が少ない。ロボット的な事務作業をやると早いけど、いざビジョンを求めると何も出来ない人が多い。
- ▲スキルを持っている人は多いが、生かしている人は少ない。発表している人が少ない。

#### 〈今後に向けて〉

- ☆地域に住んでいる人が幸せに感じるのが何よりも大切。人の活力は地域の活性化に強く関わる。まずは人を育てることが大切だと思う。
- ☆人口の増減ばかりが話題となりがちだが、住む人が誇りや愛着を持つことが大事だ。
- ☆個々に火の付いている人材はたくさんいる。うまく息を合わせて大きな火にして動いて行きたい。

## SWOT 分析を活用したまちづくり

人材・資金・情報などが不足する本町では、政策・施策・事務事業を、都市部と同じレベルで展開することは困難です。また、低成長・成熟化時代における計画のあり方として、従来のような「あれもこれも」の考え方から、「あれかこれか」という「選択と集中」の考え方が必要となります。

岩内町総合振興計画では、本町の地域資源から「まちの強み」を抽出し、これを活用してまちづくりを進めることを意識し、民間の経営分析手法である「SWOT（スウォット）分析」を行政版に修正し、活用しています。

### 〈SWOT 分析とは〉

本町の内部環境「強み」「弱み」、本町を取り巻く外部環境「機会」「脅威」を洗い出し、これらをクロス分析することで「成長させるべきもの」、「やり方を変えて行うべきもの」などを明らかにする手法です。

| 内部環境<br>外部環境                | まちの強み ◎<br>( S trength)                                   | まちの弱み ▼<br>( W eakness)                                       |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 機会（追い風）☆<br>( O pportunity) | <b>【①成長戦略】</b><br><b>◎強み×☆機会</b><br>「強み」によって「機会」をさらに活かす方策 | <b>【③改善戦略】</b><br><b>▼弱み×☆機会</b><br>「機会」を逃さぬよう「弱み」を改善する方策     |
| 脅威（逆風）●<br>( T hreat)       | <b>【②差別化戦略】</b><br><b>◎強み×●脅威</b><br>「強み」によって「脅威」に対抗する方策  | <b>【④回避戦略】</b><br><b>▼弱み×●脅威</b><br>「弱み」と「脅威」が重なる最悪の事態を回避する方策 |

- 強み×機会 = ①成長戦略 ⇒ **【積極推進】**… 成長する機会を逃さない  
 強み×脅威 = ②差別化戦略 ⇒ **【差別化】**… 強みで逆風を味方にする  
 弱み×機会 = ③改善戦略 ⇒ **【弱点強化】**… これまでの手法を変えて改善を図る  
 弱み×脅威 = ④回避戦略 ⇒ **【問題回避】**… 抜本的な発想の転換で問題を回避する

## まちの「強み」と「弱み」の分析

計画の策定における町民参画として行った「町民アンケート」や「町内会、自治会アンケート」、「町民ワークショップ」を通じ、地域の特性や地域資源に関して、町民から様々な声を聞き、これらを「強み」と「弱み」に分け、次のとおり整理しました。

㊦⇒町民アンケート      ㊧⇒町内会、自治会アンケート      ㊨⇒町民ワークショップ

### ①生活環境に対する町民の声

#### 〈良いところ〉

- ㊦大きな災害が少ない。悪い事件も少ない。
- ㊨ノッタラインには助かっている。乗客も多い。
- ㊨自然が豊か。海もあって、山もあって良い環境だと思う。

#### 〈改善が必要なところ〉

- ㊦下水道整備が非常に遅れているし、供用開始していても未接続のアパート等が多い。
- ㊧空き家が多く、危ない物件が多いため、対策が必要だと思う。
- ㊨公共交通機関はもっと向上して欲しいと思う。

| 分野   | まちの強み                                                                                                                               | まちの弱み                                                                                                                   |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生活環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎大きな災害や犯罪が少なく、安全な地域</li> <li>◎いわない循環バスノッタラインの運行開始</li> <li>◎日本海やニセコ連峰に囲まれた自然豊かな地域</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>▼下水道普及率が低い</li> <li>▼人口減少に伴う空き家の増加</li> <li>▼JR 不通地域であることによる公共交通機関の不足</li> </ul> |

### ②経済・産業に対する町民の声

#### 〈良いところ〉

- ㊦キャンプ場も温泉もあって、冬にはスキーもできる環境。
- ㊦岩内ならではの海産物や加工品がたくさんある。
- ㊨海洋深層水やパークゴルフ場がある。

#### 〈改善が必要なところ〉

- ㊦道の駅の活性化を進めて、魅力を高めて欲しい。
- ㊦商店街に昔のような活気がなく、シャッター街で寂しい印象。
- ㊧一次・二次産業の振興に予算措置を希望。栄養豊かな海の回復を図る。
- ㊧地域資源である海洋深層水の有効活用、海洋深層水に特化した施策の展開が必要。
- ㊨目当ての観光スポットがない。ただし資源は揃っていると思うので、あとはどう生かすか。

| 分野            | まちの強み                                                                                                                                                                    | まちの弱み                                                                                                                                                                     |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経済<br>・<br>産業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎キャンプ場や温泉、スキー場など、四季折々のレジャーに対応した施設の存在</li> <li>◎岩内ならではの特産品が多くある</li> <li>◎岩内海洋深層水事業の取組</li> <li>◎36 ホールに増設されたパークゴルフ場の存在</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>▼道の駅に対する住民満足度の低さ</li> <li>▼住居一体型の空き店舗が多く、店舗の継承が困難</li> <li>▼一次産業の担い手が不足している</li> <li>▼目当てとなる観光スポットがなく、豊富な観光資源を生かし切れていない</li> </ul> |

### ③健康・福祉に対する町民の声

#### 〈良いところ〉

- ㊦健康がテーマのサークル活動が多い。ラジオ体操も長年続いている。

#### 〈改善が必要なところ〉

- ㊦協会病院での医師不足が不安。
- ㊦医療関係において、専門医がいない。他の地域と連携して充実を図って欲しい。
- ㊦医療施設の事を考えると、高齢になってから住み続けることは難しい。
- ㊦産婦人科がないのは致命的だと思う。

| 分野            | まちの強み                 | まちの弱み                                                |
|---------------|-----------------------|------------------------------------------------------|
| 健康<br>・<br>福祉 | ◎健康サークルの活動が継続的に行われている | ▼町唯一の基幹病院における医師不足<br>▼専門医の不足や地域連携が進んでいない<br>▼産婦人科がない |

### ④子育て・教育に対する町民の声

#### 〈良いところ〉

- ㊦義務教育学校の建設・開校に向けた取組を一層推進してもらいたい。
- ㊦文化センターは管内随一の優れた施設。利用拡大を要望します。
- ㊦子育てサークルなどのおかげで、地域の人と関わることができた。

#### 〈改善が必要なところ〉

- ㊦小中学校の老朽化が進んでいる。
- ㊦道路や公園等の整備がされていないことや、乳幼児が遊べる施設がない。
- ㊦世代を問わず利用できる、トレーニングセンターやスポーツジム等の施設がない。
- ㊦子どもを預かってもらえる施設が少ない。  
有料でもいいので、子どもを1時間でも預かってくれる場所が欲しい。

| 分野             | まちの強み                                                                    | まちの弱み                                                                           |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 子育て<br>・<br>教育 | ◎施設一体型義務教育学校の実現に向けた検討<br>◎管内随一の設備を誇る文化センターの存在<br>◎子育てサークル等のネットワークが確立している | ▼小中学校の老朽化の進行<br>▼子どもが快適・安全に遊べる施設がない<br>▼世代問わずに利用できる運動施設がない<br>▼子どもの一時預かり施設等が少ない |



## ⑤歴史・文化に対する町民の声

### 〈良いところ〉

- ㊦複数の画家の美術館はあるが、木田金次郎一人の美術家で成り立っている美術館は少ない。
- ㊦書道、合唱、絵画、日本舞踊、フラダンス等の文化サークルが活動している。

### 〈改善が必要なところ〉

- ㊦効果は目には見えないが、まちの文化が消失してしまったらおしまいだと思う。
- ㊦地域の歴史・文化を知らない人が多い。もう一度学ぶ機会が欲しい。
- ㊦「まちのストーリー」があると、興味を持つ人が増えると思う。

| 分野            | まちの強み                                                                                         | まちの弱み                                                                                                                                        |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 歴史<br>・<br>文化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎木田金次郎美術館の存在</li> <li>◎文化サークルの活動が継続的に行われている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>▼歴史・文化の担い手の減少</li> <li>▼町史・年譜などの発行に係る有識者の不足</li> <li>▼無形文化財の担い手不足</li> <li>▼有形文化財の保護、保全の問題</li> </ul> |

## ⑥地域コミュニティに対する町民の声

### 〈良いところ〉

- ㊦町内会の意見交換会は有効な意見集約の方法。今後も継続を希望します。
- ㊦全世代一斉での地域活動は少ないが、世代別で見るとある。
- ㊦みんないろんなことで助けてくれる。田舎の強みだと思う。
- ㊦町内会で普段から連絡体制がとれている。

### 〈改善が必要なところ〉

- ㊦よそ者を受け入れないという性質があると感じる。
- ㊦町内会活動では、若い人や後継者がいない。
- ㊦団体のつながりが強いのは長所でもあるが、なかなか入りづらい。橋渡しの存在がいてほしい。

| 分野           | まちの強み                                                                                                                                          | まちの弱み                                                                                                                    |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域<br>コミュニティ | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎町内会自治会あり方検討会の実施</li> <li>◎世代別での地域活動の活発化</li> <li>◎助け合い意識の高さ</li> <li>◎町内会活動を通じた連絡体制が構築されている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>▼よそ者を警戒する風土（えんかま根性）</li> <li>▼町内会加入者の高齢化と後継者不足</li> <li>▼地域活動への参加者の固定化</li> </ul> |

## ⑦行財政運営に対する町民の声

### 〈良いところ〉

㊦ 都会に比べると、個人の顔がわかる時点で行政との距離が近い。

### 〈改善が必要なところ〉

㊦ 変化してゆく時代のニーズに合わせた行政の動きに期待しています。

㊦ 役場の思いが町民に伝わっていない。町民への情報発信のあり方を工夫していくべきです。

㊦ 役場の人々が地域をどうしようと思っているか、地域について考えている人が何人いるかが大事。

㊦ 町民を政策に巻き込むための工夫が進まない。本音としての意見募集を望んでいないのでは。

| 分野        | まちの強み                | まちの弱み                                 |
|-----------|----------------------|---------------------------------------|
| 行財政<br>運営 | ◎都市部に比べて、住民と行政の距離が近い | ▼町民への情報発信力の低さ<br>▼町民を巻き込んだ政策推進ができていない |



【基本施策ごとの戦略（施策項目）を導き出すために使用する SWOT 分析表一覧】

| 内部環境<br>外部環境          | ◎ まちの強み<br>(Strength)                 | ▼ まちの弱み<br>(Weakness)                     |
|-----------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------|
| ☆ 機会<br>(Opportunity) | 【①成長戦略】(◎強み×☆機会)<br>強みによって機会をさらに活かす方策 | 【③改善戦略】(▼弱み×☆機会)<br>機会を逃さぬよう弱みを改善する方策     |
| ● 脅威<br>(Threat)      | 【②差別化戦略】(◎強み×●脅威)<br>強みによって脅威に対抗する方策  | 【④回避戦略】(▼弱み×●脅威)<br>弱みと脅威が重なる最悪の事態を回避する方策 |

| S まちの強み (Strength)                                                                                                                                                                                               | 分野             | W まちの弱み (Weakness)                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◎1 ニセコ積丹小樽海岸国定公園に指定されている<br>◎2 高速道路「北海道横断自動車道」の延伸整備によるアクセス向上<br>◎3 北海道新幹線（新函館北斗－札幌間）の開業によるアクセス向上                                                                                                                 | 立地<br>地勢       | ▼1 北西の季節風による暴風雪                                                                                                                   |
| ◎4 大きな災害や犯罪が少なく、安全な地域<br>◎5 いわない循環バスノットラインの運行開始<br>◎6 日本海・ニセコ連峰に囲まれた自然豊かな地域<br>◎7 円山地域乗合タクシーの運行開始<br>◎8 岩内地方清掃センターの完成                                                                                            | 生活環境           | ▼2 下水道普及率が低い<br>▼3 人口減少に伴う給水量の減少<br>▼4 人口減少に伴う空き家の増加                                                                              |
| ◎9 キャンプ場や温泉、スキー場など、四季折々のレジャーに対応した施設の存在<br>◎10 岩内ならではの特産品が多くある<br>◎11 岩内海洋深層水事業の取組の推進<br>◎12 36 ホールに増設されたパークゴルフ場の存在<br>◎13 IWANAI RESORT 開発計画の推進<br>◎14 円山展望台からの夜景が日本夜景遺産に認定<br>◎15 DMO 組織の形成に向けた取組が進む            | 経済<br>・<br>産業  | ▼5 道の駅に対する住民満足度の低さ<br>▼6 住居一体型の空き店舗が多く、店舗の承継が難しい<br>▼7 一次産業の担い手が不足している<br>▼8 目当てとなる観光スポットがなく、豊富な観光資源を生かし切れていない<br>▼9 就職先の選択肢が少ない  |
| ◎16 岩宇4町村の基幹病院となる岩内協会病院の存在<br>◎17 健康サークルの活動が継続的に行われている<br>◎18 新庁舎建設に伴う保健センターの開設<br>◎19 地域包括支援センターの開設<br>◎20 あけぼの福祉会における各種事業の展開<br>◎21 社会福祉協議会等との連携・協力体制が確立                                                       | 健康<br>・<br>福祉  | ▼10 高齢化率の上昇<br>▼11 町唯一の基幹病院における医師不足<br>▼12 専門医の不足や地域連携が進んでいない<br>▼13 救急・高度医療体制の課題<br>▼14 医療保険税（料）の収納率の低さ<br>▼15 低所得者世帯率が管内数値よりも高い |
| ◎22 施設一体型義務教育学校の実現に向けた検討<br>◎23 管内随一の設備を誇る文化センターの存在<br>◎24 子育てサークル等のネットワークが確立している<br>◎25 新保育所・地域子育て支援センターの整備促進<br>◎26 母子健康包括支援センターの開設<br>◎27 コミュニティスクールの推進<br>◎28 岩宇子ども交流プログラム事業の実施<br>◎29 岩宇イングリッシュアドベンチャー事業の実施 | 子育て<br>・<br>教育 | ▼16 保育所や小中学校の老朽化の進行<br>▼17 子どもが快適・安全に遊べる施設がない<br>▼18 世代問わずに利用できる運動施設がない<br>▼19 子どもの一時預かり施設等が少ない<br>▼20 産婦人科がなく、他市町への通院が必要         |
| ◎30 木田金次郎美術館の存在<br>◎31 文化サークルの活動が継続的に行われている<br>◎32 アスパラガス発祥の地<br>◎33 野生ホップ発見の地<br>◎34 北海道における水力発電発祥の地                                                                                                            | 歴史<br>・<br>文化  | ▼21 歴史・文化の担い手の減少<br>▼22 町史・年譜など発行に係る有識者の不足<br>▼23 無形文化財の担い手不足<br>▼24 有形文化財の保護、保全<br>▼25 歴史・文化施設の冬期間の閉鎖                            |

|                                                                                                           |              |                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------------------------------------------------------------|
| ◎35 町内会自治会あり方検討会の実施<br>◎36 世代別の地域活動の活発化<br>◎37 助け合い意識の高さ<br>◎38 町内会活動を通じて、連絡体制が構築されている<br>◎39 地域おこし協力隊の任用 | 地域<br>コミュニティ | ▼26 よそ者を警戒する風土（えんかま根性）<br>▼27 町内会加入者の高齢化と後継者不足<br>▼28 地域活動への参加者の固定化 |
| ◎40 都市部に比べて、住民と行政の距離が近い                                                                                   | 行財政<br>運営    | ▼29 町内外への情報発信力の低さ<br>▼30 町民を巻き込んだ政策推進ができていない<br>▼31 公共施設の老朽化対策      |

| 0 機会 (Opportunity)                                                                                                                                                                                                                          | 分野             | T 脅威 (Threat)                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ☆1 高速道路「北海道横断自動車道」の延伸整備<br>☆2 北海道新幹線（新函館北斗－札幌間）の開業<br>☆3 男女共同参画社会の推進<br>☆4 エネルギーミックスの確実な実現                                                                                                                                                  | 立地<br>地勢       | ●1 人口減少社会の到来と少子高齢化の進行<br>●2 若者世代の都市圏への人口流出<br>●3 北海道特有の寒冷地のハンディキャップ<br>●4 人権・平和に対する意識の低下                                                                                                                                  |
| ☆5 Society5.0 の到来（5G・IoT 技術の進展）<br>☆6 循環型社会、再生可能エネルギーへの関心の高まり<br>☆7 新しい生活様式の定着<br>☆8 価値観の変化、ミレニアル世代の台頭<br>☆9 節電、節水など、環境に配慮した生活様式の定着<br>☆10 情報化社会の進展と情報通信技術の進歩<br>☆11 地域の自然や景観の保全に対する関心の高まり<br>☆12 安全・安心に対する意識の高まり<br>☆13 ユニバーサルデザインへの注目の高まり | 生活環境           | ●5 新型コロナウイルス感染拡大の長期化<br>●6 地球温暖化による自然災害リスクの増大<br>●7 異常気象の恒常化<br>●8 世界的食糧危機リスクの増大<br>●9 少子高齢化や核家族化に伴う社会環境の変化<br>●10 交通弱者の増加と自家用車への依存                                                                                       |
| ☆14 再生可能エネルギーの主力電源化に向けた取組<br>☆15 岩宇・南後志地区洋上風力発電導入推進協議会の発足<br>☆16 2030 冬季札幌オリンピックの誘致<br>☆17 リモートワーク・テレワークの推進<br>☆18 アドベンチャートラベルワールドサミット 2021 開催<br>☆19 外国人観光客の増加<br>☆20 知的好奇心を満たそうとする観光が増加傾向<br>☆21 ニセコ・倶知安地域でのリゾート開発の活発化                    | 経済<br>・<br>産業  | ●11 地域経済の衰え<br>●12 地方の雇用の受け皿と若者ニーズのミスマッチ<br>●13 社会資本インフラ更新対策<br>●14 中小企業における事業承継問題<br>●15 日本海沿岸における水産資源量の枯渇<br>●16 新型コロナウイルス感染症対策に伴うインバウンドの減少<br>●17 リゾート開発に伴う景観を無視した乱開発<br>●18 企業立地の主流がグローバル化による海外進出へ<br>●19 生産年齢人口減少の加速 |
| ☆22 健康志向の高まり（ウォーキング、健康サークル）<br>☆23 医療・介護への注目の高まり<br>☆24 元気な高齢者の増加                                                                                                                                                                           | 健康<br>・<br>福祉  | ●20 超高齢化社会の到来<br>●21 団塊の世代の後期高齢者年齢への到達<br>●22 高齢者の一人暮らしや老老世帯割合が増加傾向<br>●23 地域内の家族介護力の低下<br>●24 国家財政への不安<br>●25 社会保障費の増大                                                                                                   |
| ☆25 GIGA スクール構想の早期実現<br>☆26 子ども子育て支援法の制定<br>☆27 特色ある学校づくりに対する期待<br>☆28 学習活動における人工知能などの技術革新やグローバル化の進展                                                                                                                                        | 子育て<br>・<br>教育 | ●26 出生率の低下<br>●27 子育てに対する不安感や負担感の増大<br>●28 子どもの基礎的運動能力や集中力、思考力の低下                                                                                                                                                         |
| ☆29 地域の歴史文化を通じた郷土意識の高まり                                                                                                                                                                                                                     | 歴史<br>・<br>文化  | ●29 歴史・文化の担い手の減少                                                                                                                                                                                                          |
| ☆30 地域おこし協力隊の任用による機運の醸成                                                                                                                                                                                                                     | 地域<br>コミュニティ   | ●30 人間関係の希薄化<br>●31 無関心層の増加<br>●32 核家族化と高齢者単身世帯や老老世帯の増加                                                                                                                                                                   |
| ☆31 地方創生の取組に対する支援策の充実                                                                                                                                                                                                                       | 行財政<br>運営      | ●33 公共事業に必要な国の補助金の削減<br>●34 資材高騰による公共事業の建設コストの上昇                                                                                                                                                                          |